

2016年2月11日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年5号)

カーニバル期間中に邦人被害の強盗事件が連続発生

カーニバル期間中、日本人が被害者となる強盗事件の報告が相次いでいます。

例年、カーニバル後も、観光で引き続き滞在する日本人の方々が強盗、窃盗事件に巻き込まれるケースが多発しています。当地に滞在の間は、当館発行の安全の手引きを(当館HP参照)参考に、自己防衛に努めて下さい。

① 強盗未遂事件(傷害事件)

2月7日(日)午後2時頃、カーニバル観光で当地を訪れていた日本人男性が、リオ市セントロ地区のカテドラル(教会)付近を散策中、近づいてきた男にいきなり殴られ、続いて別の男が日本人男性の持っていたカバンを強奪しようとした。日本人男性が盗られまいと抵抗したところ、犯人達は諦めて逃げ去った。持ち物は無事であったが、日本人男性は殴られた際に前歯を折られるなど怪我を負った。

② 強盗事件

2月9日(火)午後10時頃、日本人男性がリオ市イパネマ地区のジェネラル・オーゾリオ(GENERAL OSORIO)駅を出て、ビスコンジ・デ・ピラジャ(Viçconde de Pirajá)通りの歩道を西に進んでいたところ、3人組の男が現れ、うち一人が拳銃を邦人に向けながら、所持していたカバンを渡すよう要求した。日本人男性が素直にカバン(現金、パスポート、iPhone等在中)を渡したところ、男達は足早に現場を立ち去った。

なお、現場の通りはリオ市の目抜き通りで、犯行時間も周囲は多くの人々で賑わっていたとのこと。

③ 強盗未遂事件(傷害事件)

2月9日(火)午後11時頃、日本人(夫妻)がリオ市セントロ地区のカリオカ駅付近を散策中、突然現れた男が妻が所持していたカバンを引たくろうとした。その際に妻が転倒し、右臀部を強打した。幸い持ち物は無事だったが、妻が市内の病院で治療を受けた。

【当館からのアドバイス】

- 外出する際は、なるべく華美な服装はさけましょう。
- 多額の現金を持ち歩かないようにしましょう。
- 常に自分が警戒していることを周りにアピール（急に振り向くのも有効）しましょう。
- 怪しい雰囲気を感じたら、ルートを変える、引き返すことも必要です。
- 万が一、強盗に遭ってしまったら、決して抵抗せず、相手の要求に従って下さい。